

年 組 名前 :

教員採用試験前倒し

県教委検討 大学3年時から

公立学校教員のなり手不足解消に向け、山梨県教委の手島俊樹教育長は6日、教員採用試験の前倒しを検討する考えを明らかにした。現在は大学4年時に実施している採用試験を、3年時も受けられるようにする。先行して実施する東京都などの状況も踏まえ、2024年度以降の試験

から導入することを目指している。6日再開した県議会代表質問の答弁で明らかにした。手島教育長は「具体的に実施する上での課題を整理しながら、その実現に向けて検討を進めていく」と述べた。県教委によると、前倒しを検討しているのは公立学校の

教員採用試験の1次試験。大学3年時にも受験できるようにする。東京都のほか、富山、福井の両県も前倒しを予定している。3都県の実施状況を見ながら具体化させる。前倒しした場合、受験勉強と教育実習が重なる大学4年生の負担が軽減されるほか、大学3年時に不合格となつて

も、4年時に受けられ、学生時代に2度挑戦できるメリットがある。一方、履修状況が異なる3年生も対象とするため、試験内容をどうするかなど課題もある。23年度の採用試験には261人程度の採用予定に対し、800人が出願。記録が残る00年度以降で最も少なかった。全体の内定倍率は2・8倍で、記録が残る11年度以降で最低だった。

一方、県教委は小学校の教員採用試験の1次試験について、新たに東京都内にも会場を設けることを決めた。県外在住者が試験を受けやすい環境を整えることで受

験者増につなげる狙いがある。6日は流石恭史氏（自由民主党新緑の会、南都留）が代表質問、乙黒泰樹氏（自民党誠心会、山梨）が一般質問した。

（小野田洋平）

(2023年3月7日付
山梨日日新聞1面)

問1

山梨県教育委員会は、教員採用試験の前倒しを検討する考えを明らかにしました。
その理由を教えてください。

.....
.....

問2

教員試験の前倒しは、現在の方法とどこが違いますか。

.....
.....

問3

前倒しは、大学生にとって、どのようなメリットがあると考えられていますか。

.....
.....
.....
.....

問4

出願者が年々減少しています。
あなたなら、どのようにすれば、
出願者が増えると考えますか。

.....
.....
.....